

2011年5月

推進工法用設計積算要領  
「推進工法用立坑編 2011年改訂版」  
掲載内容の訂正とお詫び

公益社団法人 日本推進技術協会

謹啓 時下益々ご清勝のことと、お慶び申し上げます。

平素は当協会の刊行物をご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

ところで、誠に遺憾ながら、2011年4月に発刊いたしました推進工法用設計積算要領

「推進工法用立坑編 2011年改訂版」の記載内容に一部誤りがありました。

今回、下記の通り正誤表を作成いたしましたので、お手数ですが訂正くださいますようお願い申し上げます。

利用される方に大変ご迷惑をお掛け致しましたことを深くお詫び申し上げます。

謹白

推進工法用立坑編 2011 年改訂版 正誤表

11.06.08

頁	行目・図表番	誤	正
109	表 3.7 - 16 日当たり圧入枚数	上から 2 行目 右から 2 列目 <u>(VL)</u> 13	13
110	表 3.7 - 17 日当たり圧入枚数	表 3.7 - 17	表 3.7 - 17 全体削除
117	C - 7 - 1 - 2 パイプロハンマとウォータ ジェット併用による鋼矢板打 込み工	左から 1 列目 上から 4 行目 <u>特殊作業員</u>	<u>溶接工</u>
124	C - 4 - 1 トラックレン併用人力掘削工	5 行目 「機械器具損料」の行	1 行削除
		5 行目に 「諸雑費」の 1 行 欠落	種目：諸雑費 } の 1 行追加 単位：式 数量：1 摘要：注 1
	最下行	C - 4 - 2 バックホウ掘削工 の代価表 欠落	C - 4 - 2 バックホウ掘削工 ( 1 ) の代価表 追加
125	C - 4 - 2 クラムシェル掘削工	代価表番号 C - 4 - <u>2</u>	C - 4 - <u>3</u>

C - 4 - 2 バックホウ掘削工 ( 1 )

(1m<sup>3</sup>当り)


種 目	形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
世 話 役		人	1.0			
普 通 作 業 員		人	3.0			
バックホウ運転費	排ガス対策型・クローラ型山積 0.45m <sup>3</sup>	時間	4.6			5 章参照
小型バックホウ 運 転 費	排ガス対策型・クローラ型山積 0.13m <sup>3</sup>	日	1.0			25 < A の場合 5 章参照
諸 雑 費		式	1			端数処理
計						1 日当り
1m <sup>3</sup> 当り						計 / 1 日当り 標準掘削土量

備考 1. 普通作業員の内容は、土砂の切崩し、掘削補助等である。

2. 1 日当り標準掘削土量は下表による。

バックホウ掘削歩掛

立坑面積 A (m <sup>2</sup> )	10 < A 25	25 < A 50
バックホウバケット容量	山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> )	
小型バックホウバケット容量	-	山積 0.13m <sup>3</sup> (平積 0.10m <sup>3</sup> )
標準掘削土量 (m <sup>3</sup> /日)	35.0	45.0

頁	行目・図表番	誤	正
119	C-7-1-8 切梁・腹起し設置工	上から7行目 諸雑費の摘要 労務費の <u>9</u> %	労務費の <u>4</u> %
	C-7-1-9 切梁・腹起し撤去工	上から7行目 諸雑費の摘要 労務費の <u>8</u> %	労務費の <u>6</u> %
145	2)適用土質の表		
	下から3行目、左から2列目	qu < 5MN/m <sup>2</sup>	qu 5MN/m <sup>2</sup>
	下から2行目、左から2列目	5MN/m <sup>2</sup> qu 20MN/m <sup>2</sup>	5MN/m <sup>2</sup> < qu 20MN/m <sup>2</sup>
	下から1行目、左から2列目	20MN/m <sup>2</sup> < qu < 60MN/m <sup>2</sup>	20MN/m <sup>2</sup> < qu 60MN/m <sup>2</sup>
148	図 3.7 - 10 構成 の左側の図中		左のマークを削除
168	上から2行目 および 表内の上から2行目	強力吸引車 <u>4.5</u> t車・ 特殊強力吸引車 <u>4.5</u> t車	強力吸引車 <u>3.1~3.5</u> t車・ 特殊強力吸引車 <u>3.1~3.5</u> t車
201	最下行	D - 603 - 1 底盤コンクリート打設工 の代価表 欠落	D - 603 - 1 底盤コンクリート打設工 ( 2 ) の代価表 追加

D - 603 - 1 底盤コンクリート打設工 ( 2 )

(1m<sup>3</sup>当り)

種 目	形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
世 話 役		人				表 3.7-105-1
特 殊 作 業 員		人				"
普 通 作 業 員		人				"
コ ン ク リ ー ト		m <sup>3</sup>				"
諸 雑 費		式	1			備考 2
計						10m <sup>3</sup> 当り
1m <sup>3</sup> 当り						計 / 10m <sup>3</sup>

- 備考 1. コンクリートは水中での打設になるため、30 - 18 - 20 (25) の配合が望ましい。  
2. 諸雑費は、トレミー管、シュート、ホッパー損料等に関する費用であり、労務費の合計額

に4%を乗じた金額を上限として計上する。

表 3.7 - 105 - 1 底盤コンクリート打設歩掛

(10m<sup>3</sup>当り)

種 目	世 話 役 (人)	特 殊 作 業 員 (人)	普 通 作 業 員 (人)	コ ン ク リ ー ト (m <sup>3</sup> )
歩 掛	0.29	0.29	0.58	10.4

頁	行目・図表番	誤	正
206	表 3.7 - 110 標準スライム処分量	内径 1,700、2,200 の場合 が欠落	表 3.7 - 110 標準スライム処分量 ( 3 ) に差し替え
	最下行	D - 609 - 1 スライム処理工 D - 609 - 2 スライム処分工 の代価表 欠落	D - 609 - 1 スライム処理工 ( 4 ) D - 609 - 2 スライム処分工 ( 5 ) の代価表 追加

表 3.7 - 110 標準スライム処分量 ( 3 )

内径 (mm)	1,500	1,700	1,800	2,000	2,200
スライム処分量 (m <sup>3</sup> )	0.7	0.9	1.0	1.2	1.5

D - 609 - 1 スライム処理工 ( 4 )

(1 箇所当り)

種 目	形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
世 話 役		人				表 3.7 - 111
特 殊 作 業 員		人				"
普 通 作 業 員		人				"
諸 雑 費		式	1			端数処理
計						

備考 地下水以下の掘削に伴い、水中コンクリートを打設する場合に計上する。

表 3.7 - 111 スライム処理歩掛

(1 箇所当り)

種 目	世 話 役 (人)	特 殊 作 業 員 (人)	普 通 作 業 員 (人)
歩 掛	0.15	0.15	0.30

D - 609 - 2 スライム処分工 ( 5 )

( 1m<sup>3</sup>当り )

種 目	形状寸法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
汚泥吸排車運転費						表 3.7 - 112
強力吸引車運転費						"
特殊強力吸引車運転						"
計						10m <sup>3</sup> 当り
1m <sup>3</sup> 当り						計 / 10m <sup>3</sup>

備考 汚泥吸排車と強力吸引車の使い分けは、表 3.7 - 112 に示す。

表 3.7 - 112 汚泥吸引車の種類と立坑深

種 別	立坑深H1 ( m )	吸引能力 ( t / h )
汚泥吸排車	H1 7.0	10
強力吸引車	7.0 < H1 10.0	25
特殊強力吸引車	10.0 < H1	50

頁	行目・図表番	誤	正
344	第小1号 圧入機運転1時間当り単価表	運転手(特殊)の数量 0.15	0.17
350	第小8号 給水車運転1日当り単価表	1行目 給水車運転1日当り単価表	給水車運転1時間当り単価表
		1行目 (機 - 7)	(機 - 6)
	給水車運転1日当り歩掛	表題 給水車 運転1日当り歩掛	給水車 運転1時間当り歩掛